

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	葛飾区役所	代表者名	青木 克徳
担当者部署	政策経営部政策企画課	連絡先電話番号	03-5654-8610
担当者役職	主事	担当者氏名	小西 彩乃
住所	124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	国のデジタル化の動向や大まかな流れ、それに向けて自治体職員が何をしなければならないのか、どのようにデジタル化を推進していかなければならないのかを、八王子市の非常勤職員の立場から、自治体職員の目線でわかりやすくご説明していただいた。また、先行自治体の事例を交えながらお話いただいたことで、具体的なイメージが湧きやすかった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月18日	13時30分	16時30分	20	160
3-2. 派遣場所	会場名	葛飾区職員人材育成センター AB研修室		最寄駅	京成立石駅
	所在地	葛飾区立石5-27-1		最寄駅からの交通手段	
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果		
5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	32人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	より多くの職員にデジタル技術の知識の習得や活用方法を学ぶ機会を設け意識啓発を図りたいが、その一環として実施する職員研修について、内容や構成が検討できておらず、未実施である点。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	デジタル推進にあたり、デジタル技術に関する基礎知識の習得や活用事例、職員の意識改革について学び、現在の業務を踏まえてどのように取り組めばよいかという視点で、実践方法について学び新たな取り組みを行える風土としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	国や自治体のDXの動向について学ぶほか、DXの取組に必要な業務改革を進めるにあたり、区民に満足していただけるサービスを再設計するために必要となる「サービスデザイン思考」についての知識の習得、先進自治体の事例。（コロナウイルス蔓延防止策により、研修形態が実地からオンラインへ変更となったため、当初予定していたグループワークは実施せず、講義のみ実施）	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	本区としてDX研修を実施するのは初めての試みであり、研修内容や構成など、実施にあたり不安があったが、事前打ち合わせや講義を通じて高村先生にご支援いただいたことで、DX推進について職員に対する意識啓発ができたと思う。また、本研修を実施したことで、DXに対し職員が求めている内容（知識レベルや温度感）を知ることができ、今後DXを推進していくうえで意識しなければならぬことや実施すべき研修内容等を改めて認識するきっかけになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 自治体におけるDX、サービスデザイン思考について学んだ。 成果物：研修テキスト
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	プログラムの変更により、サービスデザイン思考を取り入れたBPRのフローを体験するグループワークが実施できなかった。そのため次年度以降の研修で取り入れていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別紙のとおり（回収途中）。今回の研修について概ね理解できたものと見受けられ、テーマ、講師については好評であると思われる。アンケート結果をもとに、次年度以降の研修に活かし充実させていきたい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	職員のデジタル技術に対する理解や知識の向上を図り、デジタル技術を効果的に活用することで、区民サービスの向上や内部業務の効率化を進めていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

